

編集・発行 宮城県気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部 農村振興班 〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6
TEL 0226-25-8075 FAX 0226-22-1608 URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-m/>

【第5回南三陸田んぼアート田植え体験に参加しました！】

令和4年5月28日（土）に、農山漁村地域復興基盤総合整備事業南三陸地区（廻館工区）において、第5回南三陸田んぼアート田植え体験が開催され、当部からも3名が参加しました。南三陸田んぼアート田植え体験は、廻館営農組合の主催で毎年開催されていましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったことから、参加者募集による田植え体験は3年ぶりの実施となりました。今年度は南三陸を明るく元気にするキャラクター「オクトパス君」を描いた図柄となりました。

当日は心配されていた雨も降ることなく、絶好の田植え日和となり、南三陸町長や町議会議員をはじめ、志津川小学校の児童、志津川高校の生徒ら約70名が参加しました。泥だらけになりながら子どもたちが賑やかに田植えをしたり、田んぼの生き物を採集したりする姿に参加者は「このような風景が見られることが最高の幸せだ」と目を細めていました。

田植え後は地元の方々より南三陸米を用いたおにぎりと豚汁が振る舞われ、子どもたちは美味しい、と笑顔でほおぼっていました。



【南三陸町入谷地区 水田の生き物観察会に参加しました！】

令和4年7月8日（金）に、南三陸町入谷地区内新童子下集落（中山間地域等直接支払交付金事業）にて、「水田の生き物観察会」が開催されました。

南三陸町立入谷小学校の児童22名（3、4年生）が参加し、水田の中やその周辺に生息する生き物を観察し、稲の生育の様子や生き物との関係性、環境保全の重要性について学びました。

子どもたちは、講師らとともに、実際に水田の中を泳ぐカエルや水路にいるドジョウ、絶滅の危惧に瀕するアカハライモリのほか、入谷地区では農薬の影響により一時的に数が激減したといわれるタニシを懸命に捕まえながら、その特徴を観察しました。



講師から採取した生き物の生態や特徴についての講義が行われ、子どもたちはカエルの見分け方や外来種について熱心に学びました。

その後、集落より南三陸米のおにぎりが振る舞われました。集落の代表は、「入谷地区の水田では、アメリカザリガニのような外来種がほとんどいない。このようなおいしいお米を今後もつくることできるように、生き物がたくさんいる入谷の水田環境を守ることが大切だ」と語りました。

参加した子どもたちからは、「想像以上に生き物がたくさんいて驚いた。」「おいしいお米が作られる入谷の水田を守るためにも、外来種を持ち込まないように、自分たちにできることから取り組みたい」との感想が伝えられました。

【令和4年度みやぎ農業農村整備地域懇談会(気仙沼管内)が開催されました】

令和4年6月2日(木)に、気仙沼管内における「令和4年度みやぎ農業農村整備地域懇談会」が、気仙沼合同庁舎にて開催されました。

宮城県、気仙沼市及び南三陸町、階上大谷土地改良区及びJ A新みやぎ 南三陸地区、土地改良事業団体連合会並びにみやぎ農業振興公社が出席しました。

宮城県より、県内の農業農村整備事業の情勢について、水土里ネットみやぎより、農業水路等長寿命化・防災減災事業及び防災重点農業用ため池緊急整備事業をはじめとした農業農村整備部事業制度の概要について、みやぎ農業振興公社より、農地中間管理事業の取組状況について、それぞれ説明がありました。

その後の意見交換では、農業用施設に対する支援やため池・用水路に対する安全対策への支援についての話し合いが行われました。



【ため池PR動画「まもろうね！ためいけルール」が公開されました】



URL

<https://www.youtube.com/watch?v=EW0n3A5U6wU>



宮城県農政部農村振興課より、ため池に関するPR動画「まもろうね！ためいけルール」が公開されました。

小学生以下の小児向けに、転落事故の絶えない「ため池」の危険性を具体的に説明し、事故を防止するためのルールを守るよう注意喚起する動画です。

お米や野菜を作るための水を供給する「ため池の役割」についても簡単に紹介されています。

「気仙沼NN通信」は、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の広報広聴活動の一環として、主に気仙沼管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせするものです。

掲載内容についてお問い合わせなどありましたら、お気軽に当部（農村振興班）まで御連絡ください。